

【基本理念】

私たち職員は、県営医療の根幹である「県民に平等な医療の恩恵を」の精神を受け継ぎ、患者さんに「誠実と医学で支える良質な医療」を提供し、地域の人々に愛される病院づくりを進めます。

令和元年度「救急の日」記念 市民公開講座



心肺蘇生法

— 助けるのはあなた —

令和元年 9月 5日

県立江刺病院

川村 秀司



先日開催しました「救急の日」記念市民公開講座より抜粋です。

毎年9月開催しています。

内容は「講義」と「AED使用の実技」

是非ご参加ください！！

現場における救命率

院外心停止では目撃者がどこまでかかわるかにかかっている

何もしなければ **0%**、

救急車を呼べば **8%**、

胸骨圧迫で **12%**、

AED使用で **45.5%**

Iwate Prefectural Esashi Hospital

119番通報しても・・・

救急車到着 **全国平均 8.6分**

(平成30年度)

救急隊員を待つだけでは、手遅れになる！！

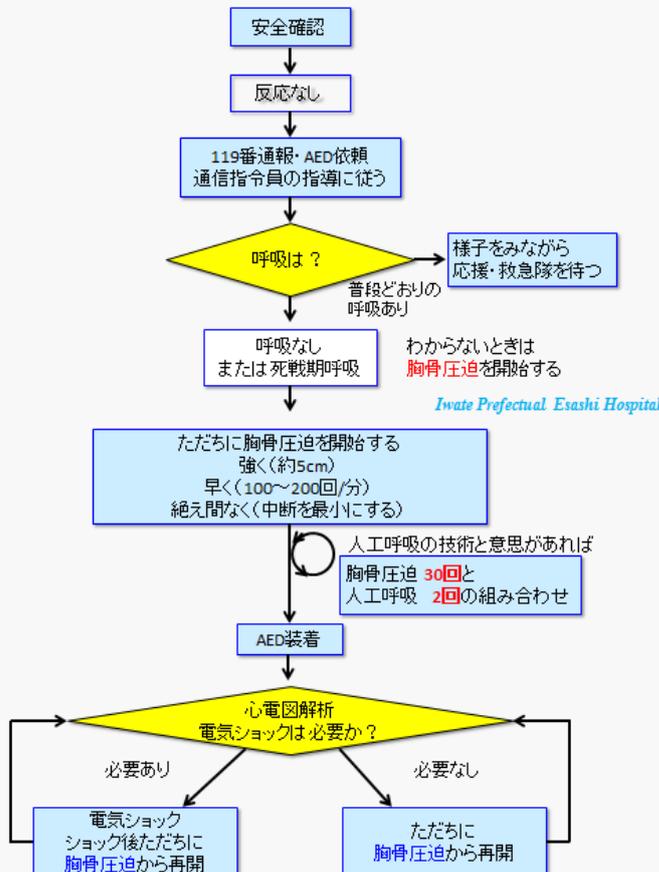
Iwate Prefectural Esashi Hospital

患者さんにとっては
命が助かるたった一度の
チャンスである。

“助けるのはあなた”

Iwate Prefectural Esashi Hospital

市民用BLSアルゴリズム



強く、早く、絶え間なく胸骨圧迫を！ Iwate Prefectural Esashi Hospital

・・・ ふれあい看護体験 ・・・

令和初の「ふれあい看護体験」が5月9日に行われ、金ヶ崎高校4名、水沢商業高校1名、体験取材として岩手日報社1名の計6名による参加がありました。



看護協会作成「キラリ！看護のシゴト」の動画を鑑賞した後、ベッドメイキングやエアマットの臥床体験、車椅子移送体験、高齢者疑似体験、足浴、院内見学などを行いました。

実際に「看護」を体験し、高齢者の疑似体験を行ったことで、様々な驚きや気づきがあったようです。

「患者さんともっとお話ししてみたかった」
「これからの将来について考えることができた」
「看護師として体にケアはもちろん、心のケアも大切な役割だと感じた」
等々、感想がありこちらも嬉しくなりました。



「誰かのためになる仕事をしたい」という希望を抱いた皆さんが医療現場を身近に感じ、将来の職業を選択する一助になったのではないかと思います。是非今回体験したことを活かし、これからの自分の夢につなげていただきたいと思います。

(看護科 小笠原好江)





院内卓球大会

令和元年6月7日～14日の6日間、昼休憩時間を利用し、第7回院内卓球大会が開催されました。

部署を超えてのチーム編成であり、その時集まったメンバーで即興のペアを組むため練習する時間ありません。対戦相手はもちろんのこと、ペアになった相手の実力も知らないままゲームが始まります。最初は緊張した様子でしたが、試合が進むにつれ声を掛け合い徐々にチームワークが発揮され、職員間の親睦が深まりました。



限られた時間の中でしたが、テュースやラリーが続いたり緊張感もありつつ、終始笑顔で楽しむことができました！



優勝
3階チーム



準優勝 **5階チーム**
第3位 **1階チーム**
第4位 **2階チーム**

七とかざり

7月1日～5日、院内を七とかざりが彩りました。
みなさん、どんな願いを寄せましたか？



☆みなさんの願いがかないますように☆